

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 清瀬の里

目標達成計画

作成日：令和 7 年 2 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	2 (2)	地域との関りを今よりも根強いものにしてみてはいかがでしょうか。	現状の地域との関わりを継続するとともに、新たな社会資源の創出も検討し、充実した関わりの構築を目指す。	近隣保育園と敬老のお祝いや運動会の見学、児童の家の小学生とは敬老会やハロウィン、運動会や学校行事などの交流を継続して行う。また、コロナ禍以前まで実施していた、お話ボランティアや習字ボランティアの資源の活用も検討していく。	12ヶ月
2	36 (16)	災害対策について再確認してみてはいかがでしょうか。	①災害時の手順をより明確にし、関係者が把握し実践できることを目指す。 ②災害時に地域の方と協働で取り組めるよう取り組み内容の見直しを行う。	①災害対策委員会にて災害時の避難手順、物品移動(水害時)等を見直し、より迅速に正確に避難できるような環境を設定する。また、その内容を災害研修にて周知を図り、実践力を上げる。 ②地域連絡網と避難手順を運営推進会議内で連絡し、机上訓練、実践に向けた取組を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。